

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	民有緑地保全支援事業				事務事業コード	20280100
概要	良好な自然環境の保護又は美観風致を維持するため、一定基準を満たす樹木等の保存を奨励する					
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	生活環境部 環境政策課	
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	府中市自然環境の保全及び育成に関する条例					
市関連事業						
対象	市民、神社、仏閣及び私立学校の所有者又は管理者					
実施の背景	緑の保護及び育成を目的に、樹木の剪定、消毒及び枯損の防止など樹木の維持管理に係る緑化費用の一部を補助することにより、緑ゆたかなまちづくりを推進する。					
事業目標	地域にある貴重な緑として維持できるよう現状を把握し、樹木の適正な維持管理に努める。					
事業内容	指定基準を満たした樹木及び樹林地について、これらの保護を奨励するための奨励金を交付する。					

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
保存樹木 2, 108本 保存樹林 829.46㎡	市内民有地にある貴重な樹木を残すため管理費の一部を所有者に助成する制度であり、約2,000本の樹木を指定している。街のシンボルとなっている樹木も多くある。	



☐ 新規・レベルアップ ☒ 継続 ☐ 見直し ☐ 廃止 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
指定している樹木に対し、奨励金を交付する。	昨年に引き続き身近な自然環境を保全する必要があることから、事業を継続していく。 また老木化や宅地化により、樹木を維持管理することが難しくなっているため、市内にある民有地にある樹木の保存に対して、市がどのように関与していくか定める方針が必要である。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼保存樹木 指定本数2,103本 ▼保存樹林 面積829.46㎡	市内民有地にある貴重な樹木を残すため管理費の一部を所有者に助成する制度であり、約2,000本の樹木を指定している。	



☐ 新規・レベルアップ ☒ 継続 ☐ 見直し ☐ 廃止 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)	
指定している樹木に対し、奨励金を交付する。	身近な自然環境を保全する必要があることから、事業を継続していく。老木化や宅地化により、樹木を維持管理することが難しくなっているため、市内にある民有地にある樹木の保存に対して、市がどのように関与していくか定める方針が必要である。また現状を把握するため、引続き現況調査を進めていく。	

平成31年度における事業の位置付け			
A 重点化・拡大して継続	B	3	宅地化等により、民間地の緑を確保することが難しくなっており、地域にある貴重な緑として維持できるよう事業を継続していく一方、近隣とのトラブルが発生していることから、現状把握に努める中で、樹木の適正な維持管理のあり方について検討する必要がある。
B 現状のまま継続			
C 見直して継続			
D 休止・廃止等			

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 保存樹木の指定	1,942	計画値 当初値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	保存樹木の指定は、目標値を越えている。また、保存樹林の指定面積については、平成19年度以降面積が変わっておらず、今後も増える見込みが無い。しかし、現在の面積を維持することで自然環境の保全に努める。
		補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	本	実績	2,127	2,113	2,108	2,103	-	
② 保存樹林の指定	984	計画値 当初値	984	984	984	984	984	
		補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	m ²	実績	829	829	829	829	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
	事業内容を維持しつつ、自主的な活動ができるよう事業を進めていく。			
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	6,730,000	6,600,000	6,505,000	6,510,000	6,490,000	6,555,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	6,730,000	6,600,000	6,505,000	6,510,000	6,490,000	6,555,000
予 算 現 額	6,730,000	6,600,000	6,505,000	6,510,000	6,490,000	0
決 算 額	6,409,250	6,320,225	6,317,425	6,344,925	6,288,925	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	6,409,250	6,320,225	6,317,425	6,344,925	6,288,925	0
執 行 率	95.2%	95.8%	97.1%	97.5%	96.9%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	0.34	0.60	0.61	0.61	0.61	
職 員 人 件 費	2,717,405	4,568,253	4,752,658	4,753,427	4,685,791	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	32,398	47,348	51,961	44,658	44,312	
総 コ ス ト	9,159,053	10,935,826	11,122,044	11,143,010	11,019,028	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市内民有地にある貴重な樹木を残すために管理費の一部を所有者に助成し、樹木や樹林の保護・育成を支援した。約2,000本の樹木を指定している。街のシンボルとなっている樹木も多くある。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
高木となった樹木や敷地境界から隣地に越境した樹木の剪定に係る費用負担が大きいため、維持管理することが難しい樹木が増えており、適正管理するためにも剪定に係る費用の一部を助成する制度の検討が必要である。また、現状を把握するため、引き続き現況調査を進めていく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1131000	補助金 樹木保存事業費	6,490,000	6,288,925	6,555,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							6,490,000	6,288,925	6,555,000

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

事務事業名		まちかど空間緑化推進事業			事務事業コード		20280200
概要		公共花壇の適切な維持管理及び市民花壇への花苗の提供					
総合計画	基本施策	2	緑の整備		主管部課名	都市整備部 公園緑地課	
	施策	28	緑のまちづくりの推進		事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等		都市公園法、都市緑地法					
市関連事業		府中市緑の基本計画 2 0 0 9					
対象		市民					
実施の背景		公園などのまとまった空間確保が困難な市街地においては、まちかどの小スペースを有効に活用した緑が望まれ、公共・市民花壇が市内に設置され、季節に応じた草花が市民の目を楽しませている。					
事業目標		まち全体の緑の個性と豊かさを育み、だれもが緑を楽しめる空間として、市民・公共花壇など「地域の庭」としてのまちかど空間緑化の普及を推進し、市民の緑に対する意識をより高める。					
事業内容		市民の協力を得ながら、緑が少ない地域などへの優先性を考慮した市民花壇の増設を進めるとともに、適切な維持管理を促します。また、市民が主体となった設置や維持管理などの緑化活動を支援するため、多様な草花の種子や苗、球根や肥料の提供、手入れの技術の講習などを行う。 緑が少ない地域などへの優先性を考慮しつつ、公共花壇を公園や公共施設、道路などへ増設を進めるとともに、適切な維持管理に努める。花壇の設置に際しては、地域性を踏まえ、特色のある草花の植栽を行い、多くの人に親しまれる空間として、地域住民や事業者が主体となった維持管理を促進する。					

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
◇公共花壇：47か所にサルビア・葉ボタンなどを植付するほか、市役所・府中本町駅・多磨駅に植付を行った。また、河川敷にはコスモスの植付、菜の花などの種まきを行った。 ◇市民花壇：環境政策課において、37か所の花壇（32団体）に対し年1回の講習会やサルビア・パンジーの苗、スカシユリの球根の配布を行った。	公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を生かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進するとともに、適切な維持管理において、各地域での市民や事業者との協働による活動をより発展させ、多くの人に親しまれる空間として機能している。	

H29年度評価に基づく見直し (Action)

A 重点化・拡大して継続		B	これまでの、都市化の進展に伴い失われた緑を確保するため、緑の量の確保に重点を置き、まちかどの小スペースを有効に活用した緑化として、公共花壇を設置し、美しいまちなみ景観を形成してきたが、市民の生活スタイルの変化や価値観の多様化が進み、より質の高い空間の確保が求められている。今後は、植生や回数を工夫し、「量」から「質」へ転換を図る。
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
4 現状では見直しが不可能			
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1	また、個性豊かな緑のまちづくりを進めるためには、「地域の庭」である市民花壇や公共花壇などのまちかどの緑化や「個人の庭」の一般公開などを、「セミパブリックガーデン」として体系化し、その普及を推進する。
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 市の面積に対する緑地の割合	24.7	計画 当初値	25.1	25.3	25.5	25.7	26	新設された公園・緑地がなく、緑のまちづくりの一環である、生産緑地も減少傾向にあることから、市内の緑地面積が減少している。
		計画 補正值	-	-	-	-	平成30年度	
	%	実績	24.8	24.6	24.5	24.5	-	
②	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
	府中市緑の基本計画2009による、緑の将来像と目標を設定している。			
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	15,948,000	10,996,000	11,956,000	11,927,000	11,924,000	11,904,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	4,500,000	0	0	0	0	0
一 般 財 源	11,448,000	10,996,000	11,956,000	11,927,000	11,924,000	11,904,000
予 算 現 額	15,948,000	8,996,000	11,956,000	11,923,000	11,904,000	0
決 算 額	15,807,044	7,827,381	11,740,988	11,673,215	11,336,255	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	4,500,000	0	0	0	0	0
一 般 財 源	11,307,044	7,827,381	11,740,988	11,673,215	11,336,255	0
執 行 率	99.1%	87.0%	98.2%	97.9%	95.2%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	2.50	1.75	1.80	1.20	1.10	
職 員 人 件 費	19,980,920	13,324,071	14,024,237	9,351,004	8,449,786	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0.2	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	624,080	
(間接経費)						
間 接 経 費	629,746	381,432	415,166	258,640	394,260	
総 コ ス ト	36,417,710	21,532,884	26,180,391	21,282,859	20,804,381	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果 緑化の余地に限られた市街地では、いかに緑化を図っていくかが重要となる。これまでもスポットパークの整備や、市民の協力による花壇の設置など、まちがどの緑化を進めた。 まちかどに良好な環境をつくり出す、スポットパーク55か所の設置。→35か所 (H29) 公共の場を彩る、公共花壇56か所の設置。→50か所 (H29) 地元住民による、市民花壇45か所の維持管理。→36か所 (H29)
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等） 都市化が進展するなか、緑が減少傾向にあることから、法制度等を適切に運用するほか、市民活動の効果的な支援のあり方を検討し、緑の保全を図る必要がある。 また、市の事業や市民、事業者との協働により緑化が推進されているが、『緑の基本計画』が平成31年度に改定を向かえることから、新たな緑の将来像を描き、地域の特徴や緑の多様な機能を踏まえた、より質の高い緑の空間づくりを進める必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	20	1124000	公共花壇運営費	11,000,000	10,413,360	11,000,000
2	01	40	15	25	1123000	市民花壇運営費	924,000	922,895	904,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							11,924,000	11,336,255	11,904,000

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名				緑化指導事業		事務事業コード		20280300	
概要		府中市地域まちづくり条例等に基づく緑化指導							
総合計画	基本施策	2	緑の整備		主管部課名		都市整備部 公園緑地課		
	施策	28	緑のまちづくりの推進		事業類型		任意事業		
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度		～	見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等		都市計画法、都市緑地法、工場立地法、墓地、埋葬等に関する法律							
市関連事業		府中市緑の基本計画 2 0 0 9							
対象		府中市地域まちづくり条例、府中市地区計画の区域内における緑地の保全と緑化の推進に関する条例、東京都工場立地法地域準則条例、府中市墓地等の経営の許可等に関する条例の対象となる開発事業等							
実施の背景		都市化が進展するなか、緑が減少傾向にあることから、法制度等を適切に運用し緑の保全を図る必要があり、市の事業や市民、事業者の協力等により緑化が推進されている。							
事業目標		府中市地域まちづくり条例に基づく緑化協議により確保された緑地を事業者の協力による増加を目指す。							
事業内容		既存の緑の保全に向けて、土地所有者の協力を得ながら、緑地の保全や緑化を推進するために、法律や条令に基づき、一定の土地の区域に対して、土地利用や開発事業を規制する、地域性緑地制度等の運用や管理支援等を行う。							

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
◇府中市地域まちづくり条例に基づく開発事業において、52件の緑化協議を行い、対象敷地 (47,270㎡) に応じ対て、新たに緑地 (4,434㎡) を確保し、緑化の推進を図ることができた。	◇府中市地域まちづくり条例に基づく開発事業において、事業者等と協議し、緑地の算定基準に基づき、適正に緑地等が確保され、緑化の推進を図ることができた。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
◇府中市地域まちづくり条例に基づく開発事業において、事業者等に対し、緑地の算定基準に基づく緑地等を確保するよう求め、併せて、恒久的な維持管理を実施するよう指導を行い、緑化の推進を図る。また、自主管理公園についても、適切な維持管理を実施するよう管理者等に具体的な指導・助言を行なう。		◇府中市地域まちづくり条例に基づく開発事業において、事業者等に対し緑地の設置を求めるとともに、自主管理公園や緑地についても、適切な維持管理を実施するよう指導等を行なう。	
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
◇府中市地域まちづくり条例に基づく開発事業において、48件の緑化協議を行い、対象敷地（75,340㎡）に応じ対て、新たに緑地（11,274㎡）を確保し、緑化の推進を図ることができた。		◇府中市地域まちづくり条例に基づく開発事業において、事業者等と協議し、緑地の算定基準に基づき、適正に緑地等が確保され、緑化の推進を図ることができた。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
◇府中市地域まちづくり条例に基づく開発事業において、事業者等に対し、緑地の算定基準に基づく緑地等を確保するよう求め、併せて、恒久的な維持管理を実施するよう指導を行い、緑化の推進を図る。また、自主管理公園についても、適切な維持管理を実施するよう管理者等に具体的な指導・助言を行なう。	◇府中市地域まちづくり条例に基づく開発事業において、事業者等に対し緑地の設置を求めるとともに、自主管理公園や緑地についても、適切な維持管理を実施するよう指導等を行なう。

平成31年度における事業の位置付け

A 重点化・拡大して継続	B	◇府中市地域まちづくり条例に基づく開発事業において、事業者等に対し緑地の算定基準による緑化協議を行い、緑地の確保・緑化の推進図るとともに、適切な維持管理を実施するよう指導・助言を行っていく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
1 大幅な見直しは必要ない	1	
2 見直しには法令等の改正が必須		
3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
4 現状では見直しが不可能		
1 見直し・縮小	1	
2 他事業との整理・統合		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 緑化協議による緑地確保面積	29	計画値 当初値	36	40	43	47	47	府中市地域まちづくり条例に基づく、事業計画の規模が縮小傾向にあることから、緑化協議により確保される面積が減少している。
		補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	h a	実績	30	31	32	33	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	0	0	0	0	0	0
予 算 現 額	0	0	0	0	0	0
決 算 額	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	0	0	0	0	0	0
執 行 率						
(人件費)						
職 員 数	2.50	3.25	3.35	2.00	1.70	
職 員 人 件 費	19,980,920	24,744,704	26,100,664	15,585,006	13,058,761	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	629,746	708,373	772,670	431,065	515,571	
総 コ ス ト	20,610,666	25,453,077	26,873,334	16,016,071	13,574,332	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果 本事業を推進するため、地区計画の区域内における緑地の適正な保全と緑化の推進を図り、もって健全な都市環境を確保することを目的として、都市緑地法に基づき平成21年3月16日より「府中市地区計画の区域内における緑地の保全と緑化の推進に関する条例」を施行した。地域主権改革一括法に伴い「工場立地法」及び「墓地、埋葬等に関する法律」の事務が平成24年4月1日に権限委譲されたことから、東京都工場立地法地域準則条例に該当する施設に対する緑地の確保の指導及び府中市墓地等の経営の許可等に関する条例に該当する墓地に対する緑地の確保の指導を行うこととなった。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等） 「工場立地法」の事務が権限委譲されたことに伴い、平成25年4月1日より「府中市工場立地法に基づく緑地率等算定に係る準則を定める条例」を施行し、この条例に基づき緑地の確保の指導を行う。 『緑の基本計画』が平成30年度に計画期間の最終年度となることから、今後の緑化指導事業についても、将来像を描いていきたい。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計									

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	公園緑地等維持管理事業				事務事業コード	20280400
概要	公園や緑地などの維持・管理					
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	都市整備部 公園緑地課	
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	都市公園法、都市緑地法					
市関連事業	府中市緑の基本計画 2 0 0 9					
対象	市民					
実施の背景	これまで数多くの公園・緑地が整備され、多くの市民に利用されていますが、経年による公園施設の劣化や樹木の成長など、維持管理上の問題が発生している。					
事業目標	公園・緑地が持つ機能を、今後とも十分に発揮できるよう、市民の協力を得ながら適切な維持管理を行っていく。					
事業内容	事故などを未然に防止し、だれもが安全に安心して公園を利用できるよう、公園施設の定期的な点検、利用頻度や維持管理コストに応じて、機能の改廃の検討、様々な担い手による管理の仕組みを構築し、企業や地域住民などが主体となった維持管理を促進するなど、公園施設の維持管理を行います。 自然環境や風致を重視した公園、子どもの遊び場となる公園など、各公園の機能や役割を踏まえ、樹木の適切な維持管理を進め、樹木の成長により、見通しのきかない箇所、枝や落ち葉が隣接地に影響を及ぼしている箇所、樹木の密生により生育環境が悪化している箇所などを把握し、間引きや植替え、剪定など公園内の樹木の適切な管理を行います。					

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
◇事務作業委託：都市公園台帳作成委託、砂場殺菌作業委託、都市計画変更案作成等委託、各種花連維持管理委託等 ◇施設管理委託：粗大ごみ・ごみ回収運搬処理委託、公園等便所清掃業務委託、公園等清掃業務委託（地元団体）、公園緑地等清掃除草業務委託（シルバー）、公園等樹木管理委託、公園等水辺清掃業務委託、郷土の森公園関係各種維持管理委託等、公園等樹木安全対策委託	◇市民からの苦情・要望による維持管理から予防保全型に切り替えることを目標に、公園・緑地等の適正な維持管理に努めた。しかしながら、全施設に対し適切な維持管理ができていない状況にあり、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度の活用、樹木の間引き、遊具の更新等、公園施設等の見直しに取り組んでいく必要がある。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☐ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組（Plan）	H29年度の方向性（Plan）	
◇事務作業委託：都市公園台帳作成委託、砂場殺菌作業委託、都市計画変更案作成等委託、各種花連維持管理委託等 ◇施設管理委託：粗大ごみ・ごみ回収運搬処理委託、公園等便所清掃業務委託、公園等清掃業務委託（地元団体）、公園緑地等清掃除草業務委託（シルバー）、公園等樹木管理委託、公園等水辺清掃業務委託、郷土の森公園関係各種維持管理委託等、公園等樹木安全対策委託	◇公園・緑地等を予防保全型の管理へと切り替える目標を達成するため、引き続き取り組んで行くとともに、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度を活用しながら、市民が親しみをもち、施設の継続的な安全性の確保を推進するため、制度についても働きかけを行っていく。 ◇公園・緑地等の利用状況に則した遊具等の更新や、巨木化した樹木の間引きなど公園施設等の見直しに取り組む。	
H29年度実績（Do）	H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
◇事務作業委託：都市公園台帳作成委託、砂場殺菌作業委託、都市計画変更案作成等委託、各種花連維持管理委託等 ◇施設管理委託：粗大ごみ・ごみ回収運搬処理委託、公園等便所清掃業務委託、公園等清掃業務委託（地元団体）、公園緑地等清掃除草業務委託（シルバー）、公園等樹木管理委託、公園等水辺清掃業務委託、郷土の森公園関係各種維持管理委託等、公園等樹木安全対策委託	◇市民からの苦情・要望による維持管理から予防保全型に切り替えることを目標に、公園・緑地等の適正な維持管理に努めた。しかしながら、全施設に対し適切な維持管理ができていない状況にあり、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度の活用、樹木の間引き、遊具の更新等、公園施設等の見直しに取り組んでいく必要がある。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
◇事務作業委託：都市公園台帳作成委託、砂場殺菌作業委託、都市計画変更案作成等委託、各種花連維持管理委託等 ◇施設管理委託：粗大ごみ・ごみ回収運搬処理委託、公園等便所清掃業務委託、公園等清掃業務委託（地元団体）、公園緑地等清掃除草業務委託（シルバー）、公園等樹木管理委託、公園等水辺清掃業務委託、郷土の森公園関係各種維持管理委託等、公園等樹木安全対策委託	◇公園・緑地等を予防保全型の管理へと切り替える目標を達成するため、引き続き取り組んで行くとともに、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度を活用しながら、市民が親しみをもち、施設の継続的な安全性の確保を推進するため、制度についても働きかけを行っていく。 ◇公園・緑地等の利用状況に則した遊具等の更新や、巨木化した樹木の間引きなど公園施設等の見直しに取り組む。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	市民意識調査の結果としては、高い水準を維持しており、重要度を含め、緑の整備に対する関心が高いことが伺えることから、市民協働によるボランティア制度を拡充し、公園・緑地等に対しより親しみをもち、満足度の向上を図りたい。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	69.9	計画値 当初値	71	72	73	74	74	市民意識調査の結果としては、高い水準を維持しており、重要度を含め、緑の整備に対する関心が高いことが伺えることから、市民協働によるボランティア制度を拡充し、公園・緑地等に対しより親しみをもち、満足度の向上を図りたい。
		補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	%	実績	70.3	76.2	76.7	76.7	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	353,352,000	361,116,000	442,981,000	445,663,000	605,405,000	650,231,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	10,378,000	13,053,000	13,763,000	14,623,000	14,773,000	16,579,000
一 般 財 源	342,974,000	348,063,000	429,218,000	431,040,000	590,632,000	633,652,000
予 算 現 額	345,182,000	398,271,000	472,764,000	514,103,000	606,494,000	0
決 算 額	336,328,156	393,359,735	466,642,649	495,408,652	573,367,112	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	12,233,340	13,298,965	14,691,256	16,579,149	17,185,494	0
一 般 財 源	324,094,816	380,060,770	451,951,393	478,829,503	556,181,618	0
執 行 率	97.4%	98.8%	98.7%	96.4%	94.5%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	6.50	7.75	8.30	7.30	7.30	
職 員 人 件 費	51,950,392	59,006,601	64,667,317	56,885,272	56,075,855	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0.8	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	2,496,320	
(間接経費)						
間 接 経 費	1,637,345	1,689,204	1,914,378	1,573,398	2,456,545	
総 コ ス ト	389,915,893	454,055,540	533,224,344	553,867,322	634,395,832	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
◇地域の特性や安全性を考慮した公園・緑地の整備 ◇公園・緑地を安全・安心に利用できる環境づくりに向けて、市民からの意見、要望への対応 ◇公園樹木について、緑の豊かさを確保した適正な管理 ◇年2回の公園等の一斉安全点検の実施 ◇地元自治会などによる定期的な公園施設の点検
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
公園・緑地の整備及び維持管理に際しては、利用者が安心して利用できるよう、見通しを良くする、照明の適切な配置を進めるなど、安全・安心を確保することが必要である。また、市民からの様々な苦情、意見、要望等に迅速に対応していくため、特に安全性に配慮する中で地域にあった維持管理の方法を考えていくことが必要である。このため、府中市インフラ管理ボランティア制度を活用し、市民や事業者との協働による安心・安全な公園・緑地等を維持し、市民が親しみを感じることができるよう公園等の空間づくりを行っていかねばならない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	20	1103000	公園緑地等管理費 管理委託料	511,640,000	474,771,421	564,614,000
2	01	40	15	20	1104000	公園緑地等管理費 光熱水費	37,202,000	39,629,854	27,271,000
3	01	40	15	20	1105000	公園緑地等管理費 諸経費	56,563,000	58,965,837	58,346,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							605,405,000	573,367,112	650,231,000

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

事 務 事 業 名		公園緑地等整備事業			事 務 事 業 コ ー ド		20280500	
概 要		既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進める						
総 合 計 画	基本施策	2	緑の整備		主管部課名		都市整備部 公園緑地課	
	施策	28	緑のまちづくりの推進		事業類型		任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～	見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり
根 拠 法 令 等		都市公園法、都市緑地法						
市 関 連 事 業		府中市緑の基本計画 2 0 0 9						
対 象		市民						
実 施 の 背 景		公園等の配置状況は、住宅市街地の多くが、身近な公園の圏域とされる半径250m内に含まれており、1人当たりの都市公園面積は、人口増加により伸び悩んでいるが、周辺都市より高く、量的な充足している。						
事 業 目 標		既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進めることで、緑の将来像の実現を目指します。						
事 業 内 容		水と緑のネットワーク形成方針に基づき、市の核となる公園は「緑の中核的な拠点」として、地域の核となる公園は「地域における緑の拠点」として、緑道等は「水と緑のネットワークゾーン」として優先的に整備を行う。 また、歩いて行ける公園等の整備として、身近な公園の圏域とされる半径250m内に都市公園の整備を引き続き進めていくものとし、都市公園の整備が困難な場合は、安定的な利用が可能な条例等の公園整備を行う。						

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
◇日本公園緑地協会負担金 ◇塗装、ベンチ補修、外柵改良、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇四谷さくら公園拡張整備実施設計業務委託 ◇(仮称)西原町四丁目公園実施設計業務委託 ◇公園施設長寿命化計画策定委託 ◇測量設計委託	インフラマネジメント計画に基づく、公園施設等の長寿命化計画の策定を進め、防災機能の向上や施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを推進し、四谷さくら公園拡張整備及び(仮称)西原町四丁目公園実施設計について、引き続き市民協働による公園づくりを進めながら地域の特色を生かした整備計画を立案した。	



H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
◇塗装、ベンチ補修、遊具設置・取替、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇（仮称）西原町四丁目公園新設工事 ◇公園施設長寿命化計画策定委託 ◇測量設計委託		インフラマネジメント計画に基づく、公園施設等の長寿命化計画の策定を進め、防災機能の向上や施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを推進していく。 また、（仮称）西原町四丁目公園の新設工事を行う。	
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
◇塗装、ベンチ補修、外柵改良、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇西原町四丁目公園（仮称）築造工事 ◇公園施設長寿命化計画策定委託 ◇測量設計委託		◇施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りのため、公園・緑道の整備・補修を行った。 ◇西原町四丁目公園の築造工事が行われ、平成30年3月末に開園した。 ◇開設から25年以上経過した153公園のうち、本年度は51公園の公園施設長寿命化計画を策定した。	



H30年度の具体的な取組（Plan）	H30年度の方向性（Plan）
◇塗装、ベンチ補修、遊具設置・取替、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇四谷さくら公園拡張整備工事 ◇公園施設長寿命化計画策定委託 ◇測量設計委託	◇施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを行う。 ◇第1期の四谷さくら公園拡張整備工事を行う。 ◇3年計画の最終年として、50公園の公園施設長寿命化計画を策定する。

- 1 -

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 市民1人当たりの都市公園面積	7.04	計画当初値	7.14	7.19	7.23	7.28	7.33	身近に利用できる公園として、圏域とされる半径約250メートル内に適切に配置することを基本として、概ね適切に配置されている。
		補正值	-	-	-	-	平成30年度	
	m ² /人	実績	6.98	6.93	6.91	6.95	-	
②	-	計画当初値	-	-	-	-	-	
		補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	76,775,000	77,693,000	61,685,000	128,033,000	117,825,000	288,445,000
国庫支出金	0	0	0	15,000,000	10,000,000	56,500,000
都 支 出 金	0	0	0	0	0	25,000,000
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	60,300,000	0	0	0	0	0
一 般 財 源	16,475,000	77,693,000	61,685,000	113,033,000	107,825,000	206,945,000
予 算 現 額	76,775,000	77,693,000	97,573,000	130,760,000	134,819,000	0
決 算 額	70,471,646	72,306,250	87,002,616	122,206,019	119,550,758	0
国庫支出金	0	0	0	11,000,000	5,000,000	0
都 支 出 金	0	0	0	4,050,000	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	70,471,646	72,306,250	87,002,616	107,156,019	114,550,758	0
執 行 率	91.8%	93.1%	89.2%	93.5%	88.7%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	2.50	2.25	2.55	3.20	3.60	
職 員 人 件 費	19,980,920	17,130,949	19,867,670	24,936,010	27,653,846	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	629,746	490,413	588,152	689,705	1,091,797	
総 コ ス ト	91,082,312	89,927,612	107,458,438	147,831,734	148,296,401	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
公園等の配置状況は、住宅市街地の多くが、歩いて行ける身近な公園の圏域とされる半径250m内に含まれており、1人当たりの都市公園面積は、昨今の急激な人口増加による影響を受け伸び悩んでいるが、周辺都市と比較すると高く、量的には充足している。既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進めることで、緑の将来像の実現を目指し、水と緑のネットワーク形成方針に基づき、市の核となる公園は「緑の中核的な拠点」として、地域の核となる公園は「地域における緑の拠点」として、緑道等は「水と緑のネットワークゾーン」として優先的に整備を行った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
水と緑のネットワークの形成を基本的な考え方とした整備を進めるとともに、災害時や地域活動など多角的に活用できるようにするため、機能の充実を図る必要がある。また、誰もが親しむことができる公園とするため、市民や事業者とともに公園づくりに取り組んでいく。また、歩いて行ける公園等の整備として、身近な公園の圏域とされる半径250m内に都市公園の整備を引き続き進めていくものとし、都市公園の整備が困難な場合は、安定的な利用が可能な条例設置による公園整備を行う。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	20	1107000	負担金 日本公園緑地協会	85,000	85,000	85,000
2	01	40	15	20	1111990	公園緑地等整備事業費 設計委託料	6,000,000	4,104,000	4,500,000
3	01	40	15	20	1112010	公園緑地等整備事業費 整備工事費	80,430,000	93,285,115	255,180,000
4	01	40	15	20	1112030	公園緑地等整備事業費 測量設計委託料	3,000,000	3,851,843	3,000,000
5	01	40	15	20	1117000	公園緑地等整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
6	01	40	15	20	1124500	公園等事業用地管理費	2,080,000	2,073,440	2,080,000
7	01	40	15	20	1136300	公園施設長寿命化計画策定費	24,300,000	16,092,000	22,600,000
8	01	40	15	20	1136350	郷土の森公園駐車場利用実態等調査費	930,000	59,360	
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							117,825,000	119,550,758	288,445,000

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	緑の基本計画策定事業				事務事業コード	20280600
概要	緑のまちづくりを推進するための指針となる基本計画を策定する					
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	都市整備部 公園緑地課	
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	法定事業	
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成28年度～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	都市緑地法第4条					
市関連事業	府中市総合計画、府中市都市計画マスタープラン					
対象	全市民					
実施の背景	現行計画の目標年次である平成30年度を控え、この間の社会経済情勢や自然環境等の変化及び法制度の変更により、新しい視点による「緑の将来像」を描く必要があることから、これまでの施策等の効果の検証を踏まえて計画の改定を行う。					
事業目標	平成28年度から平成30年度の3年間で、現行計画の全面改定を行い、平成31年度から平成40年度までの新たな10年に向けて、府中市の緑の保全及び整備、緑化の方向性を定める。					
事業内容	「緑の基本計画」は、都市緑地法第4条に基づき、公園・緑道などの公共施設から住宅地・商店街・工場などの民間施設の緑を含めた地域全体の「緑の将来像」を描き、この実現のために、多くの取組を体系的に位置づけた緑の総合的な計画で、第6次総合計画の「緑の整備」における「緑のまちづくり」を推進するための指針となる計画を、平成28年度から平成30年度の3年間で、現在の府中市の緑の状況を把握し、これまでの施策等の効果の検証を踏まえ、庁内・外の検討協議会での意見等を取り入れ、改訂版の「緑の基本計画」策定する。					

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容
緑の基本計画の改訂に向け、航空写真等のデータを活用し、緑被や緑地等の状況、施策の進捗状況等を調査し、基礎資料の整備を行った。		緑の視点から見た府中市の将来像を描き、今後、市の緑地の保全と緑化の推進に関する施策を展開していくための指針となる「緑の基本計画」を改定するために必要な基礎資料の整備ができた。


☐ 新規・レベルアップ

☒ 継続

☐ 見直し

☐ 廃止

H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
今年度は、緑に関する市民意向を把握するとともに、平成28年度成果を踏まえてGIS等を用いて緑の配置等の検討を行い、基本方針等の検討を行います。		平成28年度に整備した基礎資料を基に、平成29年度より「府中市緑の基本計画検討協議会」等で、緑の視点から見た府中市の将来像を描き、今後、市の緑地の保全と緑化の推進に関する施策を展開していくための指針等を検討する。	
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
◇緑に関する市民意識調査の実施。 ◇外部委員による緑の基本計画検討協議会を設置し、改定に向けた検討・協議を行う。		◇2000人の市民に対し、緑に関する市民意識調査を実施し、回答率は35.2％であった。 ◇外部委員による緑の基本計画検討協議会を設置し、3回の協議会を開催し、法律改正や社会情勢の変化、市内の自然環境の変化等を踏まえ、改定に向けた検討・協議を行った。	


☐ 新規・レベルアップ

☒ 継続

☐ 見直し

☐ 廃止

H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
◇引き続き改定に向けた検討・協議を行い、協議会から市長へ答申を行う。	◇改定作業に若干の遅れが生じているが、本年度中に協議会からの答申を受け、基本計画のとりまとめを行う。

平成31年度における事業の位置付け

A 重点化・拡大して継続		C	「府中市緑の基本計画」は、当初平成11年度に策定、平成21年度に改定し「府中市緑の基本計画2009」とした。現行計画の目標年次である平成30年度を控え、この間の社会経済情勢や自然環境等の変化及び法制度の変更により、新しい視点による「緑の将来像」を描く必要があることから、これまでの施策等の効果の検証を踏まえ、第6次府中市総合計画および府中市都市計画マスタープランとの整合を図り、平成28年度から平成30年度の3年間で計画の改定作業を行っている。検討協議会からの意見・提案も多く、改定作業に遅れが生じていることから、若干の継続作業が必要となる。
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1	
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
①	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがないため、特に指標の設定は行わない。
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	3
	都市緑地法第4条に基づき策定される、緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画を定めたもの。			
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	0	0	0	7,476,000	7,790,000	5,205,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	0	0	0	7,476,000	7,790,000	5,205,000
予 算 現 額	0	0	0	7,476,000	7,790,000	0
決 算 額	0	0	0	7,398,000	7,188,400	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	0	0	0	7,398,000	7,188,400	0
執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	99.0%	92.3%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	0.00	0.00	0.00	1.30	1.30	
職 員 人 件 費	0	0	0	10,130,254	9,986,111	
嘱 託 員 数				0	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費				280,192	394,260	
総 コ ス ト	0	0	0	17,808,446	17,568,771	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
「府中市緑の基本計画」は、当初平成11年度に策定し、平成21年度に改定し「府中市緑の基本計画2009」とした。この度、現行計画の目標年次である平成30年度を控え、この間の社会経済情勢や自然環境等の変化及び法制度の変更により、新しい視点による「緑の将来像」を描く必要があることから、これまでの施策等の効果の検証を踏まえ、第6次府中市総合計画および府中市都市計画マスタープランとの整合を図り、平成28年度から平成30年度の3年間で計画の改定を行う。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
平成28年度から平成30年度の3年間で、社会経済情勢や自然環境等の変化及び法制度の変更により、新しい視点による「緑の将来像」を描く必要があることから、これまでの施策等の効果の検証を踏まえ、庁内・外の検討協議会での意見等を取り入れ、改訂版の緑の基本計画として広く公表する。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1136400	緑の基本計画策定費	7,101,000	6,890,400	4,630,000
2	01	40	15	25	1136500	緑の基本計画検討協議会（仮称）運営費	689,000	298,000	575,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							7,790,000	7,188,400	5,205,000